

(1) 浮遊物の見え方

目の前に浮遊物が見えることを飛蚊症と言います。見え方は人によって様々です。糸状、粒状や丸い輪であったりします。また、黒かったり半透明であったりもします。眼を動かしても一緒に移動することもあります。

明るい場所で白い物や空を見たときに見えることが多いです。

症状が出始める年齢も様々です。

(2) 浮遊物が見える原因

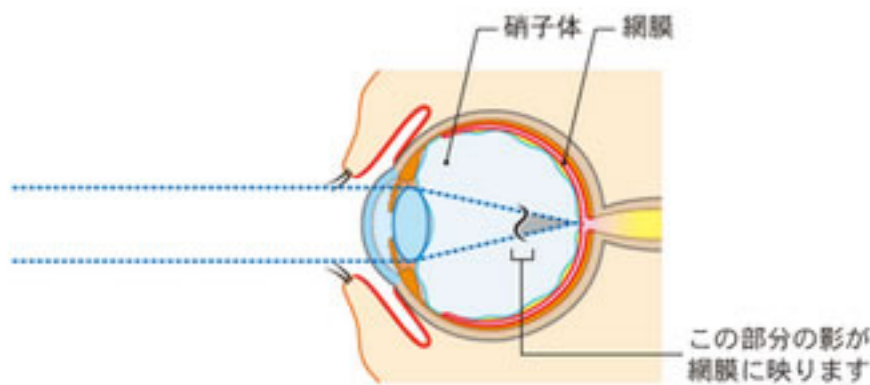
飛蚊症の原因は大きく分けて2つあります。

1. 生理的飛蚊症

眼球の中を満たす「硝子体」というゼリー状の物体が原因で起こります。

硝子体が老化、眼の酷使やストレスなどで劣化してしまい、網膜から剥がれるときに網膜を引っ張り、そこが影のように見え浮遊物として認識されます。

加齢によるものが最も多いですが、強度の近視の方にも起こりやすいと言われています。また、生まれつき硝子体に濁りがあり、それが浮遊物として見えることもあります。



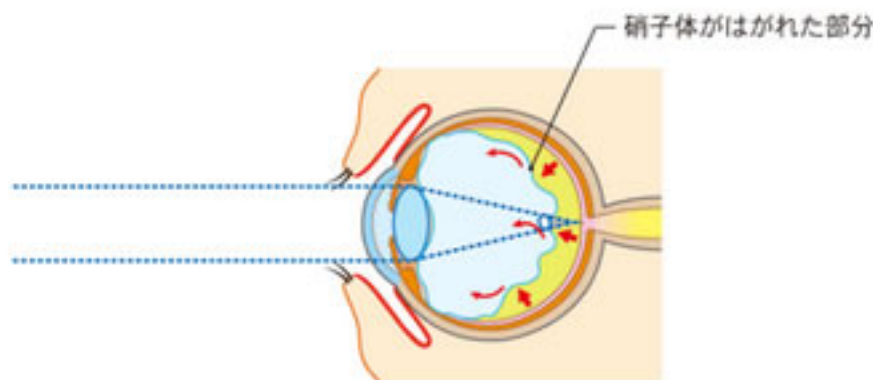
資料:サンテン製薬

2. 病的飛蚊症

眼の病気が原因であるものをいいます。

代表的なものとして、網膜が剥がれてしまう網膜剥離(下図)や網膜の一部に亀裂が入る網膜裂孔などです。

またぶどう膜炎が原因で、炎症物質が生じることで起こることもあります。



資料:サンテン製薬

(3) 当院の取り組み

いずれにせよ、わずかでも浮遊物が現れた際には自己判断をせず、お早目にお近くの眼科での検査をおすすめします。

当院では症状の訴えがある方はもちろん、コンタクトレンズの定期検査などの時にも、基本的なチェックを行っております。

何か気になる症状があるときは、遠慮なくご相談下さい。

また、浮遊物の数が増えたり形が変わったり、物がぼやけて見えたりするようなことがあれば、ただちに眼科を受診なさって下さい。